

進路だより

いわき支援学校くぼた校
進路指導グループ
<第19号>
令和3年12月24日発行

産業現場等における実習

※生徒のみなさんも読んでみよう!

9月14日(月)～9月25日(金)の5日間、3年生は校外で実習を行いました。企業や福祉事業所で様々な仕事に挑戦し、卒業後の進路に向けて充実した実習を行うことができたかと思えます。

11月15日(月)～11月26日(金)まで1・2年生も校外へ出て、多くのことを学んでくることができました。1年生は初めての校外での実習でしたが、どのように感じたでしょうか?くぼた校では、1学年の2学期から校外実習に出ています。卒業まで合計して5回の実習の機会があります。実習先をいろいろと経験すると、仕事の幅が広がります。自分に合った働き方を試すのもこの機会となります。

以前からコミュニケーションについて実習先から多くのアドバイスが多くありました。仕事が自分に合っても、共に働く仲間とうまくやっていけなければ、実習先を進路先とすることはできません。周囲の人たちとどのようにかかわっていくかが大切です。そのためにも、学校や家庭、地域における普段の生活の中で、どのように人とかかわっていくかが問われます。言葉遣いや、かかわる態度はどうあるべきなのか、学校生活の中で考えてほしいと思います。



さんしゃいんクレハ



いわきエコパルプ



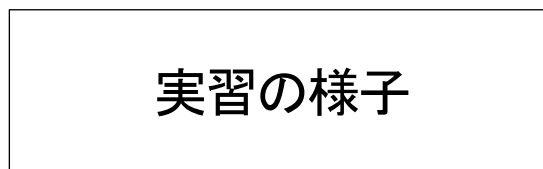
あさひ屋



ワークセンターしおさい



いわき希望の園



みなみテラス



マルト君ヶ塚店



マルト泉店



小名浜菜園



虹のかけはし

～職場開拓～

<職場開拓（企業）について>

令和3年3月からの法定雇用率の改正（民間企業は2.2%→2.3%）に伴い、障がい者雇用に前向きな企業は以前より増えてはいるもの、ハローワークにおける障がい者枠の求人はまだ多くありません。そのため、学校における産業現場等における実習が即、卒業後の進路へつながることも少なくありません。限られた実習を生かしていくために、各学年で行う職場見学も、進路について考える大切な機会となります。

本校では、今後も学校ぐるみの企業開拓を進めていきたいと考えております。保護者の皆様においても、地域の障がい者に対する就労に関心を寄せていただき、学校へ情報を寄せていただけると幸いです。

<職場開拓（福祉事業所）について>

地域の福祉事業所の数には限りがあり、南部地域は特に少ない現状です。さらに、現在の運営システム上仕方がないことなのですが、すでに定員を満たしている事業所もあり、現体制で受け入れられる範囲で・・・という回答をいただくこともあります。

このような状況下において、私たちが暮らすこの南部地域のニーズを伝えていくことはとても大切なこととなります。

～進路説明会～

11月5日（金）に保護者を対象とした進路説明会を行いました。お忙しい中、保護者の皆様にご参加いただきありがとうございました。

前半の講話は株式会社マルトグループホールディングス取締役本部長 石山伯夫様から「卒業後の社会参加・自立を目指して～家庭でできること 学校でできること～」について講話をいただきました。企業の最前線で障がい者雇用に携わる石山様の話は、保護者の皆様には、参考になる情報がたくさんあったと思われます。



後半の講話は進路指導主事から「くぼた校卒業後の進路先について」と題して、進路先決定までの具体例をもとに話した。ポイントとしては、

①卒業後、どんな暮らしを望むのか本人を中心に家族みんなで話し合う。

②本人に合う進路先を選べるように、いろいろな事業所や職種での実習、さまざまな体験をする。

また、就労後、働き続けるために必要なこととして、

①くぼた校 在学中に「自分でできること」を増やしておく

②社会の仕組みを体感できる経験をする。

③今日の出来事や困っていることはないか、保護者方話を聞いて、穏やかな支援を続ける。が挙げられました。

参加された保護者の方からは「子供たちの能力に合った職業を選ぶ話を聞くことによって、子供たちの仕事に対する気持ちを育てるという事が大切だと改めて気が付きました。」「将来に希望の持てる明るいお話でとてもありがたかったです。前向きな気持ちになれました。またお話聞きたいです」などの感想が寄せられました。

お子さんの将来の生活を考える上で、進路に関する情報を得て、本人を含めて家族で話し合うことは大切です。来年度も進路説明会を行う予定ですので、ぜひ、ご参加いただければと思います。